

平成29年千葉市教育委員会会議
第4回定例会会議録

千葉市教育委員会

平成29年千葉市教育委員会会議第4回定例会会議録

日時 平成29年4月19日(水)

午後2時00分開会

午後2時40分閉会

場所 教 育 委 員 会 室

出席委員	教 育 長	磯野 和美
	委 員	中野 義澄
	委 員	和田 麻理
	委 員	千葉 雅昭
	委 員	藤川 大祐

出席職員	教 育 次 長	神崎 広史	教育指導課長	中嶋のり子
	教育総務部長	大野 和広	教育支援課長	福本 順
	学校教育部長	伊藤 裕志	保健体育課長	古山 智和
	生涯学習部長	大崎 賢一	教育センター所長	根本 厚
	中央図書館長	小林 幹弘	養護教育センター所長	吉岡 龍子
	教育総務部参事	大橋美帆子	生涯学習振興課長	山田 利雄
	千葉高等学校長	川崎 浩祐	文化財課長	志保澤 剛
	稲毛高等学校長	遠藤 明男	中央図書館管理課長	作田 満
	総務課長	國方 俊治	教育職員課教職員担当課長	山下 敦史
	企画課長	伊原 浩昭	中央図書館管理課読書環境整備担当課長	太田 康幸
	教育職員課長	武 大介	総務課総括主幹	石井 進一
	学校施設課長	杉山 信弘	学事課長補佐	石井美代子
	学事課長	大井 力		
書 記	総務課長補佐	大須賀隆之	総務課主任主事	上田 泰幸
	総務課総務班主査	高桑 太綱	総務課主事	坪山 耕太

1 教育長職務代理者の指名報告

磯野教育長より、平成29年4月1日に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項に基づき、教育長職務代理者には、中野委員を指名したことが報告された。

2 出席職員の紹介

開会に先立ち、出席職員の紹介を行った。

3 開会

磯野教育長より開会を宣言

4 会議の成立

過半数の出席により会議成立

5 会議録署名人の指名

磯野教育長より藤川委員を指名

6 会期の決定

平成29年4月19日（1日間）ということで全委員異議なく決定

7 議事日程の決定

議事日程を全委員異議なく決定

8 議事の概要

(1) 報告事項

報告事項(1) 平成29年4月1日付教職員の人事の概要について

山下教育職員課教育職員担当課長より報告があった。

報告事項(2) 市立高等学校の進路状況について

川崎千葉高等学校長及び遠藤稲毛高等学校長より報告があった。

報告事項(3) みずほハスの花図書館の開館について

太田中央図書館管理課読書環境整備担当課長より報告があった。

(2) 臨時代理報告

報告第3号 千葉市育英資金支給条例施行規則の一部改正について

中嶋教育指導課長より報告があった。

(3) 発言の要旨

報告事項(1) 平成29年4月1日付教職員の人事の概要について

磯野教育長 教育職員課教育職員担当課長、報告をお願いします。

山下教育職員担当課長 報告事項(1)「平成29年4月1日付教職員の人事の概要について」、報告します。

管理職人事につきましては、3月7日の教育委員会会議第1回臨時会で議決いただきました。3月13日に各学校に内示を行い、30日に辞令交付式を実施し、4月3日には異動者が異動先に着

任いたしました。各学校では、新年度の体制となったところですが、改めて人事異動の概要について報告いたします。

まず、1の今年度の異動総数ですが、小・中・特別支援学校を合わせまして1,146名、昨年度末より9人の減となっております。

また、2の新規採用教員数ですが、小学校90人、中学校66人、特別支援学校8人の計164人で、昨年度より23人の減となっております。そのほかに養護教諭5人、事務職員7人、栄養職員5人、合わせて17人を新たに採用いたしました。また、今年度市立稲毛高校、千葉高等学校にそれぞれ2名ずつの新規採用者も配置しております。これによりまして、平成20年度以降、今年度までの10年間において、教諭数の合計で1,867人の新規採用教職員を採用したこととなります。

次に、3の管理職の登用でございます。校長の新規登用数は42人、副校長の新規登用者1人、教頭の新規登用数44人で、昨年度より校長は15人増、教頭は11人増でございます。昨年度は校長の退職者が増加したため、登用が全体的にふえております。

また、4の管理職のうち女性管理職の数は、校長26人、教頭32人の合計58人となり、昨年度より7人の増となっております。女性管理職の割合は、5に示したように、本年度は全体の16.9%となり、昨年度に比べて増えております。

最後に、6の同一校7年以上の勤務者の解消率ですが、小中学校とも昨年度より低くなっております。

なお、産休、育休、休職、療養休暇中等の異動が困難と見込まれる者や校長の裁量権の拡大により残留させる者については、ここには含まれておりません。

以上でございます。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等を含め、何かございますか。
ありがとうございました。

報告事項(2) 市立高等学校の進路状況について

磯野教育長 千葉高等学校長、稲毛高等学校長、順に報告をお願いします。

川崎千葉高等学校長 千葉高校の川崎でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

平成28年度千葉高校の進路状況についてご報告をさせていただきます。平成28年度進路概要でございます。

最初に、卒業生の人数及び進路決定状況について、ご説明をさせていただきます。平成28年度の卒業生は、普通科286名、理数科39名、合計325名でございます。

続いて、進路決定状況を掲載しておりますが、進学先といたしまして、平成28年度は、大学（文系・理系）への進学は合わせて232名、浪人・未定が80名、その他として13名となっております。その他の内訳でございますが、大学校が2名、短大が2名、専門学校が5名、就職が4名でございます。平成28年度の進路決定率は75.4%、前年度は79.3%でございます。

次に、大学合格者数についてご報告をします。大学合格者数の過去3年間の推移を現役プラス浪人と現役のみに分けて表に示してございます。

最初に国公立大学ですが、28年度の合格者は現役57名、浪人が19名、合計76名でございます。主な合格先は、北海道大学、東北大学、筑波大学などであり、千葉大学は現役が27名、浪人19名、合計46名でございます。なお、千葉大学には2年生の理数科生徒1名が飛び級で合格しましたので、その数を含めております。

次に、私立大学でございます。私立大学については、現役合格者数を報告いたします。なお、私立大学は国公立大学と違い、1人の生徒で複数の合格を得ることができますので、合格数は延べ数となっております。

最初に難関私立大学ですが、早稲田18、慶応6、上智9、東京理数23となっております。MARCHについては、資料に記載のとおりでございます。

次に、本校の学科別の現役の大学合格者数でございます。平成28年度は、国公立大学に普通科286名中50名、理数科40名中7名が合格をしております。なお、国公立大学、難関私立大学、MARCHの合格者数につきましては、その下に記載のとおりでございます。

最後に、国公立大学の受験者数及び千葉大学の受験・合格状況についてご報告をします。国公立全体の中で、前期入試受験者の推移を見てみますと、26年度は144名で卒業生の約45%、27年度は133名で約41%、28年度は154名で約47%でございます。また、その中で千葉大学受験者がかなりの割合を占めており、本校の多くの生徒が目標としていることがわかりま

す。千葉大学の受験及び合格状況を掲載しておりますが、28年度は各学部には108名の現役生が受験し、飛び級を除く26名が合格する結果となっております。

以上、簡単ではございますが、進路状況概要についてご報告をさせていただきました。大学及び学部別の合格状況等については、後ほどご確認いただければと思います。

それでは、次に、今回の大学入試結果の特徴について触れさせていただきます。現役の国公立大学合格者は57名でございました。進学重視型単位制導入の平成19年度以降、本校の国公立大学の現役合格者数は40名から47名で推移しておりましたが、26年度は70名と過去最高の結果を上げ、28年度は昨年を若干上回り、2番目の合格者数となっております。

本校では、国公立大学進学を大きな目標として進路指導に取り組んでおります。少子化により大学レベルが両極化する中、依然として国公立大学の難易度は高く、多くの生徒の目標とする千葉大学は、その国公立大学の中でも高いレベルにあります。そこに現役で26名が合格できたことは評価できるものと考えております。

また、昨年いなかった就職が4名いることも今年度の特徴として挙げられます。いずれも公務員で、難関と言われている就職先でございますが、自分自身の進路に真摯に向き合ってくれた結果と思っております。

最後に、この機会に本校の学習面における取り組みや当面の課題について申し上げます。

最初に、50分7限授業についてですが、生徒、教員とも意欲的に取り組んでおり、既に定着したものと考えております。今後は授業内容のさらなる充実に取り組んでまいります。

次に、本校では、一昨年から本校独自の記録用ダイアリー「STUDY RECORD」、昨年のこの会議の場でもご紹介させていただき、それを配付しておりましたが、今年度から名称を「ICHキャリアノート」として、学習記録だけでなく、そこに記載されております内容に変更し、手帳としても活用できるよう内容を改良いたしております。50分7限授業の充実とともに、長年の課題であります学習習慣の確立などに引き続きしっかり取り組むことで、生徒の進路実現につなげていきたいと考えております。

最後に、資料はございませんが、SSHについて申し上げます。おかげさまで第3期の採択を受けることができました。千葉市教育委員会のご指導のもと、本校のSSHが職員全体で取り組んでいることや、生徒の教育に重点を置いた授業内容であること、さらにはクロスカリキュラムへの組織的な取り組みが評価されたものと思っております。第3期において、大学や研究機関との連携講座、課題研究など、これまでの特色ある理数教育に加え、文系・理系を問わず、全ての生徒の科学的リテラシーの向上や国際性の涵養などに努めてまいりたいと考えております。今後ともご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

以上で説明を終わります。

遠藤稲毛高等学校長 続きまして、稲毛高校の進路状況につきまして、ご説明をいたします。

稲毛高校は、1学年当たり普通科が7クラス、国際教養科が1クラスの8クラス構成になっています。普通科7クラスのうち2クラスは附属中から上がっていく内進生、残りの5クラスが高校からの外進生であります。

進路概要をご覧いただければと思いますが、卒業生数が載っております。今年度は合計が316名、この代は附属中の5期生に当たります。

そのすぐ上に進路決定状況が載っております。文系の大学に61.1%、理系の大学に20.9%、すなわち大学進学者のうち4分の3は文系です。浪人が15.8%、その他を含めまして進路決定率は、84.2%という結果でした。昨年度は89.4%でしたので、少し浪人の数が増えました。昨年は浪人が33名、今年は50名となっております。

その他の7人の内訳でございますけれども、進路状況についてというところをご覧いただければと思います。短大に1名進学しております。それから、専門学校に4名、看護系が1名、語学系が2名、簿記が1名、海外大学でサンフランシスコ州立大のほうに進学をしております。海外大の集計はここに入れてあります。就職が1名、千葉市消防局のほうに就職いたしました。

では、次に大学の合格状況でございますが、また進路概要のほうをご覧いただければと思います。国公立大学は現役・浪人合わせまして41名、うち現役は33名という結果でした。数は昨年度より減少いたしました。後ほど説明いたしますけれども、私

立志向が昨年度よりも強く、進路希望調査の段階からその傾向がある学年でした。東京大学でございますが、チャレンジした生徒は今年度もおりましたが、今回は合格者が出ませんでした。しかしながら、浪人ではありますけれども、山形大に1名とありますが、これは医学部です。国立大の医学部に合格しておりますし、それから、東工大に2名、東北大にも1名合格しております。

その下、今度は難関私立大学のほうですけれども、早稲田大学の欄をご覧くださいたいんですが、早稲田大学の現役合格者が昨年の19名から倍の37名に増加をいたしました。難関私立大学の表をご覧くださいたいんですが、この表は内進生、外進生、国際教養科と分けて記載してありますが、ご覧くださいますとわかりますとおり、早稲田大の増加は内進生ではありません。外進生と国際教養科、この増加分ということが見ていただけたらと思います。

それから、表にMARCHの欄があります。明治大学、法政大学の数が大幅に増えております。今回、各私立大学は合格者数を絞っております。多くの学校が合格者を減らしている中で本校が大きく増加しているということは、よく頑張った成果だなというふうに思っております。

千葉大学の受験状況と合格状況でございますが、48名が受験いたしましたして、18名が合格をしました。例年、合格するのは3分の1程度になっています。一番多い学部は工学部です。また、昨年度新設をされました国際教養学部は、3名が受験し全員合格することができました。全体の傾向といたしましては、内進生の実績については例年と変わらず、外進生と国際教養科につきましては実績を上げることができたのではないかと考えております。入学者選抜の結果を見ておりますと、本校に入学する生徒のレベルは年々高くなっております。それから、理系への進学を志す生徒も増加傾向にあります。

今後の課題といたしましては、年々高まります国公立大学志望、それから、理系の志望への対応があります。昨年9月に実施をしました進路希望調査の結果を見てみますと、この3月に卒業した当時3年生は、国公立の志望は89名で28%でした。ですが、当時の2年生、今の3年生なんですけれども、これは117名で36%、当時の1年生、今度の2年生では186名で、57%が国公立大学志望を答えております。しかも、1年生につきまして

は、理系の国公立の大学を志望している生徒が82名おります。本校の現在の教育課程は、理系、特に国公立受験にきちんと対応ができているのか早急に点検をして、検討したいと考えております。

また、授業でしっかり知識・技能を身につけた上で、真の学力である思考力、判断力、表現力を向上させることができますように取り組んでまいります。幸いにも本校は、おかげさまで教室にICT環境が非常によく整備されておりますので、これを活用した効率的な授業を今後も展開してまいりたいと思います。

最後に、本校はスーパー・グローバル・ハイスクールの採択を目指してきております。今年度は残念ながら文科省のほうで新規募集を行いませんでした。したがって、申請を行わなかったわけですが、しかしながら、その経費を市費のほうでつけていただきまして、本校ではSGHで計画をした探究活動、主に総合的な学習の時間で展開するのですが、そこで取り組みを始めておきまして、千葉大学の国際教養学部をはじめとする大学の連携も進んできております。こうした取り組みは、新しい学習指導要領の方向性と合致しておりますし、また、現在進められている高大接続改革、中でも大学入試改革の方向性とも合致するものですので、進学実績の向上にも必ず寄与するものと確信しております。

以上で説明を終わります。

磯野教育長 どうもありがとうございました。

審議に移りますけれども、質問等を含め、何かございますでしょうか。

では、和田委員。

和田委員 1点質問なのですが、両校ともに昨年度と比べると浪人生が若干増えているということなのですが、これはどのように分析されていますでしょうか。

川崎千葉高等学校長 千葉高校ですが、やはりうちの場合は、今年は国公立大学が非常に希望者が多かったです。やっぱり高い当初の目標、第一希望に自分でチャレンジしたいというようなことがこのような結果になったと考えております。

遠藤稲毛高等学校長 稲毛高校のほうは、影響が一番大きいのは恐らく男女比なのです。学年によって、おおむね稲毛高校は女子のほうが少し多いのですが、その比率が女子の多い学年は現役での決定率が高くなる。それが割合がちょっと男子に傾くと浪人の数が増えると、そうい

う傾向が見られます。

和田委員 今年はちょっと男子生徒がいつもよりも多かった。

遠藤稲毛高等学校長 そういう学年です。

和田委員 わかりました。ありがとうございました。

それと感想になるのですが、「STUDY RECORD」がとても進化した形で使われるということで、以前見せていただいたときに、本当に子どもたちが書いて大丈夫かなと思ったような記憶があるのですが、「生徒に書かせる」から「生徒が使う手帳へ」ということなので、これからの効果をぜひまたご報告いただければと思います。ありがとうございます。何か社会人みたいですね。

ちなみに、このICHというのは何の略ですか。

川崎千葉高等学校長 市立千葉ハイスクール。

和田委員 市立千葉ハイスクール、市立のIなのですね。

磯野教育長 ほかにはどうでしょうか。

千葉委員 このノートというのは、生徒さんたち横のつながりでも見せ合いとか、そういうような活用はしているんですか。

川崎千葉高等学校長 今回改定するに当たりまして、3年目なのですがけれども、生徒の意見を聞きながら、先生方で中身を構成をしてもらいました。多くはやっぱり授業計画だけではなくて、学校生活全般にわたって講義の記録だとか、そういったことをやることを求めていたということで、このような形になりました。生徒同士がお互いに見せ合ったりしているかどうかというのは、ちょっとわからないです。

千葉委員 例えば自分がこういう方針でこういうことを書いて、こうやったら効果が上がったとかと、効果が上がったことをほかの生徒さんたちに伝えて教えるというか、何で僕、こんなに同じように書いているのだけれども、僕のほうは効果が上がらないのだろうとか、そういう横の連携というか、そういう意味でお尋ねしたんですが。

川崎千葉高等学校長 そうです。おっしゃるとおりです。参考にさせていただいて、ちょっとまた学校に帰って、そんなことも様子をうかがいながら取り組んでいきたいと思います。

和田委員 これは、担任にはどのくらいの頻度で提出したりするんですか。

川崎千葉高等学校長 担任と副担がいまして、基本的には担任に任せています。い

ろいろな機会がありますので。ただ、昨年度は1週間に1回程度は提出をしていただきました。

磯野教育長 中野委員。

中野委員 千葉高校のほうですけれども、進路先を見ますと文科系のほうが多いと思うのですけれども、理数科の卒業生は全員理科系に進学するのでしょうか。文科系にこの中から行った人というのはいないのでしょうか。

川崎千葉高等学校長 理数科の生徒はほとんど理数系に進んでいます。何年かに1人とか。

中野委員 私自身は高校に入学してからも方針が変わる人が絶対いると思っています。理数科に入っても文科系に行く人が出てもおかしくはないと思っているので、参考までにお聞きしました。いないんですね。全員理科系ということで。

川崎千葉高等学校長 はい、今年度はそうです。

中野委員 ありがとうございます。

磯野教育長 そのほかどうでしょうか。よろしいですか。

報告事項(3) みずほハスの花図書館の開館について

磯野教育長 中央図書館読書環境整備担当課長、報告をお願いします。

太田読書環境整備担当課長 報告事項(3)「みずほハスの花図書館の開館について」、報告します。

みずほハスの花図書館が3月28日にオープンいたしましたので、概略等についてご説明をいたします。

所在地につきましては、花見川区役所内の1階で、以前、情報コーナーとしていた活用スペースを利用しております。床面積は457平米、ここは言葉だけですが457平米、蔵書は開館時約2万冊を入れています。これは土気図書室の次に小さく、冊数につきましては、図書館、分館では最小になります。

では、お手元の写真を使って説明していきます。まず、みずほハスの花図書館(写真)①をご覧ください。区役所の入り口の横にハスの花をあしらったブックポストを設置いたしました。このブックポストは、通常図書館、新たにつくるときにはポストをつくるんですけれども、区役所を利用するというのでここにつくっております。このブックポストにつきましては、夜間、本の返却を受けるためのものです。

続きまして、入り口は、以前福祉事務所でトイレの奥に位置し

ていたことから、エントランス部分を明るく目立つように動物のイラストで壁面を飾りました。奥に何があるのかなというような形で、誘導するようなデザインとしております。

続きまして、入りましてすぐ入り口正面にはデジタルサイネージ、電子看板と言われてはいますが、こちらを設置し、館内の情報をスライド形式で案内しております。また、こちらから鳥のさえずりや小川のせせらぎの音などを流すなど、周りの話し声が気にならないような工夫もしております。

続きまして、自動貸出機になります。その右側の端末は図書館の資料を検索するパソコンです。自動貸出機につきましては、本を重ねたまま貸し出しの手続きができますので、一度使うと、早いし簡単ということで好評です。なお、返却につきましては、本の汚れや破損の確認をするためにカウンターで返却をしていただいております。

続きまして、みずほハスの花図書館(写真)②をご覧ください。こちらはタブレット端末が5台あります。ここでは、インターネットや無料の電子書籍「青空文庫」などを体験することができます。また、館内には無線LANも設置しております。

青と黄緑色の背の高い椅子につきましては、座ると横の方の視線が見えないような配置となっております。通常6人がけのベンチを用意しても、左右の2人しか利用されませんが、この椅子の場合ですと隣が気にならないということで、限られたスペースの有効活用ができるのではないかと考えております。

右下にありますステンレスのボックスは除菌ボックスです。本を中に入れてふたを閉め、スイッチを入れると、ボックスの奥にある紫外線のランプが約45秒点灯し、本の表面が除菌されます。見た目は何も変わらないんですけども、除菌ができるということになっております。みずほハスの花図書館の本は全て新しく購入したのですが、古い本であったりとか、絵本ですね、子どもの本などはこれは気にする方も多いので、最近では導入している図書館も多いようです。

続きまして、子どもたちのフロアです。先ほどの写真から見ると、やや床の色を変えて明るくなっております。こちらの床につきましては、子どもたちが靴を脱いで自由な姿勢で本を読めるようなスペースが欲しいという小学生の提案を受けて、このような配置としております。

みずほハスの花図書館の特徴といたしましては、大きな声でなければお話もできますので、そういうことから保健福祉センターを利用された親子連れの方などの来館も期待できると思っております。また、先日は子どものおはなし会などもこちらの場所で開催しております。

利用状況としては、開館初日の風景ということで、写真のような形でにぎわっておりました。

メッセージツリーということで、意見を自由に書いてもらって、木のところに張ってもらうというような形の試みをしてみました。メッセージの中では、新しい図書館ができてうれしいとか、あと、自動貸出機が簡単に使えてびっくりした、また来たいなどの意見が書かれておりました。

④は閲覧・自習席の様子です。窓側に14席用意されております。電気スタンドのほか、パソコン用の電源も用意しております。

最後は、書架の写真です。こちらは書架一番上と一番下は使いにくいことになっておりますので、そこをあけて使えるようにしております。また、貸し出しをして書架の空間が目立たないように、表紙を表側に向けた面展示をするなど、そのような形で配架の工夫をしております。

こちら、みずほハスの花図書館につきましては、開館時間は午前9時から午後5時15分まで、休館日につきましては、祝日、振りかえ休日、第3木曜日、年末年始、特別整理期間となっております。

開館日初日の来館者数は1,115人、利用カードの登録者数は再発行も含めて52人いらっしゃいました。その後、4月1日から18日までの状況ですけれども、来館者数が557人、利用カードの登録は25人でした。今後は市民への情報発信の充実のため、タブレットの使い方の講座の開催や地域情報の提供、市民講座の開催などを予定しております。あと、利用案内ということにつきましては、後ほどご覧いただければと思います。

説明は以上です。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等を含め、何かございますか。

藤川委員 ご説明ありがとうございました。大変いろいろ工夫をされていることがわかりました。

タブレットの件について伺いたいんですが、セキュリティ関係、つまり子どもが問題のあるサイトにアクセスするであるとか、あ

るいはW i - F i があるということでしたが、ゲーム端末などを
持ってきてW i - F i に繋ぐというようなこともあると思うん
ですが、一部施設では、子どもがゲーム機を持ち込む場所みたい
なこともどうもあるみたいなんですけれども、少なくとも変なもの
にアクセスするという点について余り助長してはいけない
かと思うんですね。一方で、市民の方が自由にアクセスするとい
うことは大事な事なので、余り規制はしちゃいけないと思うん
ですけれども、この情報セキュリティに関して何かポリシーとか
考え方があれば教えていただきたい。

太田読書環境整備担当課長 まず、使っている端末なんですけれども、i P a d を使ってお
ります。i P a d の初期設定の中でアダルトというのを防止する
のがありますので、まずそちらをかけております。あと、立ち上
げの画面につきましても、サイトがヤフーとグーグルと、あと青
空文庫、そこしか立ち上がらないような形で今回はかけておりま
すので、写真を撮ったりとか何かができるかという点、それはで
きないような形の制限はかけております。W i - F i のほうのプ
ロバイダーのほうでもセキュリティがかけられるので、そちらの
検討はしているところです。

あと、ゲームにつきましても、一応持ち込んでゲームはだめよ
という形しかできないので。

藤川委員 目で見ていけばいいのか。

太田読書環境整備担当課長 そうですね。i P a d そのものに関しては制限がありますの
で、検索と青空文庫だけという形になります。

藤川委員 自由なアクセスを保障するというのは大事な事だと思います
ので、余りがんじがらめでなくて、できる限り職員の方が見て
いただくとか、そういう対応でいいかなと思います。どうもあり
がとうございます。

磯野教育長 ほかにはどうでしょうか。

千葉委員。

千葉委員 エントランスのところで点字ブロックがあったので、ちょっ
と気になったのですけれども、例えば視力障害者の方なんか来
たときに点字でわかるような本が置いてあるとか、それから、
音声案内だったりとか、バリアフリー度みたいなのはどの程度な
のでしょうか。

太田読書環境整備担当課長 こちらは先ほど申し上げたように2万冊ということ、限られ
たスペースということなので、専門書であったりとかは置いてい

ないです。ですから、点字のほうに関しては、今のところ申しわけないのですけれども、用意はしておりません。音声案内につきましても、今のところ特にそこにつきましても、筆談等の対応はできると思うんですけれども、今のところは用意していません。

千葉委員 あともう一点なんですけれども、除菌ボックスのところ、例えばこれって大人の方がやるのは簡単かもしれないですけれども、例えば小学1年生、2年生のお子さんでも持って行って自分でできたりするとか、ボタンの高さとかそこら辺というのはどのぐらいの高さなのかなと思って気になったので。

太田読書環境整備担当課長 ボタンは右上のところの青いボタンがスイッチになりますので、ちょっと子どもには高いと思います。

千葉委員 もし子どもさんなんかやる場合には、係の方とかが対応できるのでしょうか。

太田読書環境整備担当課長 呼んでいただければ、それで対応可能です。

千葉委員 ありがとうございます。

磯野教育長 ほかにはどうでしょうか。

はい、和田委員。

和田委員 今の除菌ボックスのお話ですけれども、あれはご覧になっていて利用度はどんな感じでしょうか。

太田読書環境整備担当課長 先ほど申し上げましたけれども、まだ今回比較的新しいので、そんなには使われていませんけれども、行って見ている限りでは、お母さん方が何人か使っているのを私が行ったときには見ております。ほかの図書館でやっぱり入れているのを聞きますと、お母さんが絵本とかは割と使う方が多いというふうに聞いております。

和田委員 表面だけですね、除菌されるのは。全部のページをやろうと思ったら、全部のページを45秒ずつかけなきゃならないかもしれませんね。

太田読書環境整備担当課長 はい。紫外線のランプが後ろについている、それが照射するだけですので、本の上とか下とか背表紙とか、そういうふうになっていると思います。

和田委員 わかりました。ありがとうございます。

それともう一点なんですけれども、よろしいでしょうか。自動貸出機についてなんですけれども、これは市内では初めての導入でしょうか。

太田読書環境整備担当課長 はい、初めてになります。

和田委員 メリットは非常に簡単であるということだと思わなければならない、ほかにメリットと、それから、もしちょっと自動貸出機を入れることで、困ることが起きるんじゃないかというような予想がありましたら教えていただきたいんですが。

太田読書環境整備担当課長 メリットは先ほど申し上げた、簡単に重ねたままできますので、時間がすごいスピーディーにできるという。通常ですと、1冊ずつやっていくのが、ぽんと置いてカードを置けばできますので、それが1つと、あと、見られたくない、例えば健康に関する本であったりとか、そういうのは図書館の職員にも余り見られたくないなという方は、そういうふうな形で借りられるという点で、そういうメリットはあるかと思えます。

デメリットといいますと、多少中にICタグが入っているんですけども、その不具合などがあつた場合とかは機械がちょっと反応しなかったりとか、本を返却してもう一回借りたいとか、ちょっと手間が入るものとかは難しいというのはございます。

和田委員 わかりました。もちろん簡単になって、早いですし、重ねてできるということもありまして、いいこともあると思うんですけども、貸し出しをするときに、特に子どもなどは、カウンターに行って職員の方と会話が少しあつて、そこで得るものというのが、何気ないところで得るものというのがあるので、こういうことがどんどん進み過ぎてしまうとどうなのかなという一抹の不安がありますので、そのあたりのバランスをとりながら進めていただければなと思えます。

磯野教育長 よろしいですか。ありがとうございました。

報告第3号 千葉市育英資金支給条例施行規則の一部改正について

磯野教育長 教育指導課長、説明をお願いします。

中嶋教育指導課長 報告第3号「千葉市育英資金支給条例施行規則の一部改正について」、説明します。

改正の目的は、国の補助事業を活用して、千葉県が国公立高等学校等の低所得者世帯の生徒に対し支給する奨学のための給付金において、低所得者世帯や多子世帯の教育費負担の軽減を図るために、非課税世帯における第1子の給付額を増額することに伴い、その差額の支給について規定している千葉市育英資金支給条例施行規則の一部を改正するものです。

条例施行規則改正の概要ですが、第3条「支給額から相当額を

控除する給付金」第2号に規定する給付金の年額を5万9,500円から7万5,800円に変更する。

第4条「委員会規則で定める額」第2号に規定する支給額を月額5,000円(3月にあつては5,500円)から月額3,700円(3月にあつては3,500円)に変更するです。施行年月日は平成29年4月1日です。

中身を説明させていただきますと、育英資金という千葉市の給付型で高校生に支給しているものがあります。こちらは年12万円を支給する制度となっております、以前からある制度です。それとは別に2年前から国のほうの給付型、奨学のための給付金という制度があります。そちらの第1子に支給する国庫の支給額が平成29年度に5万9,500円から7万5,800円に上がったことに伴いまして、支給額が変わるということです。第4条のほうは月額で定めておりますので、毎月3,700円、また、3月は端数が出るものですから、3,500円が支給額となる改正をさせていただきました。

以上でございます。

磯野教育長　それでは審議に移りますけれども、質問等含めまして何かございますでしょうか。

よろしいですか。

それでは、以上で本日の議事日程記載の案件に係る審議が終了いたしました。委員の皆様、ここまででその他としてご意見、御質問等、何かございますでしょうか。

9 その他

(1) 第5回定例会は、平成29年5月17日(水)午後2時より開催することと決定した。

10 閉会

磯野教育長より閉会を宣言